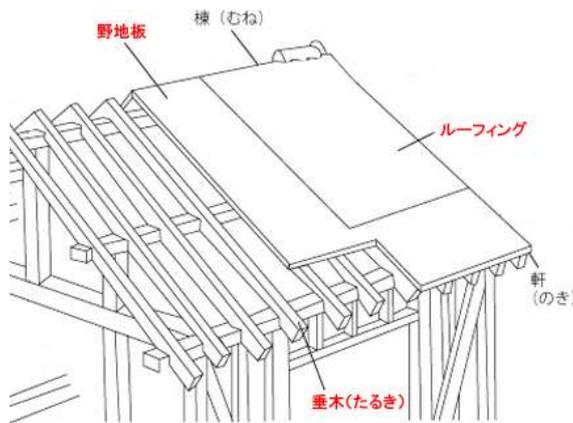


大工泣かせの化粧野地板！

前回から引き続き、松田町寄の貸別荘計画の続編です。「300坪の敷地に広がる森の中を駆け巡るドッグラン付き貸別荘」！昨年計画を進めていた貸別荘計画ですが、農地転用の手続きに始まり、敷地の造成、浄化槽の設置、水道・電気の引き込みなどを終えて、先月やっと建物の上棟に漕ぎ着けました！9月半ばを過ぎた日でしたが最高気温が34.6度と茹だるような暑さの中、何とか一日で建物の骨組みが完成しました！右の写真はその日の夕方、応援に来てくれた大工さんたちが帰った後の現場の様子です。自分も作業こそしません（できません



ん笑)でしたが、大工さんの横で柱を支えたりとか、重機で材木を移動する際にロープを掛けたりとか、微力ながらも少しでも大工さんの役に立てればと思い動いていましたので上棟が終わりほっとした瞬間の一枚です。という事で今回は上棟から現在までの工事の様子をご紹介します。建物は東西で60mある細長い敷地に合わせて同じく東西に細長い平屋建にしました。宿泊人数は2人連れを基本にmax5人までなので建坪20坪(66㎡)とコンパクトな設計です。凝り性な性分ゆえ、こだわりポイントを上げればキリがありませんが今回お話ししたいのが、“化粧野地板”です！まずこの化粧野地板の説明の前に基本的な屋根の構造から。



屋根は垂木(たるき)という下地補強材を45cmピッチで並べてその上に野地板という合板を貼って仕上げていきます。通常はこの屋根の下に新たに下地を組んで天井を作りますが(平らにするか勾配天井にするか)、今回はこの垂木と野地板をそのまま天井として見せる事にしました。その際、野地板の合板が丸見えになってしまうので合板の代わりに木の羽目板を貼るので“化粧野地板”というんです！普通に考えると垂木の上に合板の代わりに化粧の羽目板を貼ってあげればいけないじゃないかと思いますがね。ところが今回の平屋の間取りは解放感を最優先して壁が少なく、耐

震性が確保できないので、水平耐力をこの野地板で確保する構造設計になりました。つまり垂木の上には構造用合板を直に貼って耐震性を確保するので化粧野地板を貼る事が出来ないんです(涙)。間取りの解放感を優先するか、化粧野地板の仕上げを優先するか・・・どっちも譲れない。そんな頑固でわがままな要望を満たす解決策とは？そう、単純に屋根の下から垂木と垂木の上に羽目板を貼ってあげればいいんです！言うのは簡単ですが、やるのは大変！(大工さんに怒られます・・・)右の写真はまさにその羽目板を屋根の下から貼っている様子です。大工さんの左側はすでに仕上がった状態。右側はまだ貼っていない合板下地の状態です。通常は4mの長さの羽





目板を垂木の“上”から貼っていくのですが、この羽目板を45cmに細かくカットして垂木と垂木の間に隙間なく“下”から1枚1枚貼っていくんです。しかも下から見た時にちゃんと1枚の羽目板が繋がっているように木目が合っていないといけませんのでカットした板には番号をふって順番通りに貼っていきます。また屋根は平屋で軒も深いので130㎡（15.5m×8.4m）もの広さです。その裏側全てに羽目板を貼っていくのですが、その数なんと2000枚以上！気の遠くなるような作業です（涙）。そこでこの作業期間だけは大工さん総勢6人がかりで一気に貼り終えました！施主のわがままな要望に応じていただき感謝です！左の写真は貼り終えた屋根の裏側です。あたかも垂木の上から1枚の長い板が貼っているように見えますよね。これ全て細切れなんですよ。

それにしても端から端まで15mある軒先は圧巻です！右の写真は室内側から天井を撮ったものです。室内側から垂木が延びて外側に繋がっているのが分かりますね。ここでもう一つのこだわりポイント“ガラス面戸”です！垂木と垂木の間は“面戸”といいます。通常は面戸板といって木の板を入れるか、壁を立ち上げて塞いでしまう場所ですが、そこにガラスを入れる事で垂木の連続性や外との繋がりを演出、また今後予定している庭との一体感が生まれます！今回の建物のテーマはズバリ“非日常”です！普段の生活ではなかなか味わう事のできない素敵な空間にしようと思われたいです！他にもいろいろな仕掛けを考えています。これから工事が進んでいく中でポイントを絞ってまたマニアックなこだわりをご紹介します！



Bells kitchen

10月も間もなく終わり。とんでもなく暑く、長い長い夏もとうとう終わりを迎えました。今年の夏、我が家は例年よりも果物を食べる機会が多かったように思います。食後に少し甘いものが食べたくなるのですが、暑さのせいかどうしてもチョコレートやクッキーには手が伸びず・・・今年はシャインマスカットが例年よりもお安かったので買ってきてみたところ、果物あまり好きではないと思っていた家族が「美味しい！！また買ってきてー」と。スイカや梨、桃などもよく食べた夏でした。ビタミン、ミネラルなど体が欲していたのかもしれないね。季節の移り変わりとともにスーパーに並ぶものも変わってきました。リンゴや柿、みかんなど秋冬物が出そろいましたね～。「リンゴは医者いらず」という言葉があるように栄養価の高いリンゴ。その昔、子どもたちに食べさせたくて買ってきても全然食べてくれず。悪くなってしまう前にコンポートにしたりしていました。たまたま見た雑誌か何かののっていたアップルケーキがシンプルで簡単にできそうなので試してみることに。材料も小麦粉、お砂糖、卵など家にあるものでできて、1カップとか大さじ1とか大雑把な感じではかりも不要（笑）ボウルでざっと混ぜて、バットに入れて30分焼くだけ！！それなのになんともホッポリ味わい深い。すぐにうちの定番メニューとなり、簡単にできるので子どもたちだけで作ってくれたり私にとってとても思い出深いレシピとなりました。リンゴが美味しいこの季節、お茶の時間のお供にいかがでしょうか。





〈材料〉 30 cm×24 cm位のバット 1台分
 ・リンゴ 2個
 ・米油 or サラダ油 1/2 カップ
 ・キビ砂糖 1カップ
 ・卵 2個
 ・小麦粉 2カップ
 ・ベーキングパウダー 大さじ1



③ ボウルに油、砂糖、卵を入れて混ぜる。



② そこに小麦粉、ベーキングパウダーをふるい入れ、ざっくりと混ぜる。



① 切ったリンゴを入れ、混ぜる



⑤ オープンシートを敷いたバットに流し入れる。



④ 180℃のオーブンで30分焼いて出来上がり！

編集後記

現在進行中の松田町寄の新築工事ですが、只今屋根工事を行っています。屋根は断熱

効果を高める為、通気工法といって野地板を二重に貼ってその間に空気を通す構造です。つまり家2棟分の屋根を作るのと同じ手間がかかるんです。その工事中は雨に濡れないよう毎日ブルーシートで屋根養生を行わないといけません。冒頭の記事でもお伝えしましたがその面積が130㎡もあり(40坪の敷地と同じ位の広さ)養生だけでも大変な作業です。しかもブルーシート継目から雨がしみてくるので2重に重ねています。これを毎日屋根下地ができるまで続けな

いとけません。化粧野地板の作業が大変だとお話しましたがこちらの屋根の下地工事にも負けない位大変です(涙)。大工さんには本当に頭が上がりません(感謝)。この記事を書いている丁度今日、屋根の職人さんが寸法をとりに来てくれたのでこのブルーシートの風景ももうすぐ見納めです(笑)。さて先月上棟してから本格的に建築工事が始まりましたが、このところは電気の配線工事や水道工事が続いてほぼ毎日現場に通っています。茅ヶ崎の事務所からだと距離にして50キロ位ありますが西湘バイパスを使っていけば1時間ちょっとで到着します。この距離感にもやっと慣れて今では通勤感覚で車を運転しています♪この新築工事と同時進行で本業のリノベーション工事でも大型物件が進行中でどちらも年末から年明けにかけて追い込みとなります。しばらくの間は二足の草鞋となりますが、頑張っ乗り越りたいと思います！次回は12月発行予定です！

